

2020年4月改訂

使用前にこの説明書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう保管してください。

外用化膿性皮膚疾患用薬
吸出し青膏
(一名 たこの吸出し)

第2類医薬品

吸出し青膏は有効成分中に含まれている硫酸銅の腐蝕作用とサリチル酸の角質軟化作用により、はれものの口を開き、膿を排泄して患部を治します。

【使用上の注意】

してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

次の部位には使用しないでください。

- (1) 目や目の周囲、粘膜等 (口腔・鼻腔など)
- (2) 湿疹
- (3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のある患部
- (4) 出血のある患部

相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 乳幼児
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (4) 患部が顔面又は広範囲の人
 - (5) 湿潤やただれのひどい人
 - (6) 深い傷やひどいやけどの人
2. 使用后、次の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、この文章を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文章を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

●効能・効果

化膿性皮膚疾患、瘍、疔、横痃等の腫物の吸出し

<効能・効果に関する注意>

瘍 (よう)、疔 (ちょう)、横痃 (よこね) は、おでき等の腫れものの呼称

●用法・用量

ガーゼ又はリント布に膏薬少量を患部の中心に小さくつけ一日二回貼換へる

<用法・用量に関する注意>

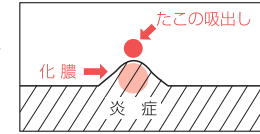
ご使用の時は、指定しております用法・用量を守り、以下の注意事項を参考にご覧ください。

製品の性質上、特に冬季は軟膏が硬くなる場合がありますが薬効に影響はありません。

取り出しにくい場合は、温めると柔らかくなります。

- (1) 患部を清潔にしてください。
- (2) 添付のヘラにてガーゼ又はリント布に膏薬適量を広げずに塗ってください。

- (3) 軟膏の用意ができましたら、それを患部の中心につけ、その上に油紙等をのせ、ずれないように絆創膏でとめ、必要があれば包帯をしてください。



- (4) 貼りおわりましたら膿が出るまでは1日に2回貼り換えてください。
- (5) 膿が完全に出切るまで続けて、すっかり膿が出切りましたら、使用を中止し殺菌ガーゼ等で傷口を保護してください。
- (6) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (7) 小児に使用させる場合は、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (8) 乳幼児又は皮膚の特に弱い方、いろいろなものにかぶれやすい方は、乳幼児又は皮膚の特に弱い方、腕の内側等の柔らかいところに少量塗って翌日異常のないことを確かめてから使用してください。
- (9) 外用にのみ使用してください。
- (10) 局所刺激作用がありますので、本剤が患部の周りの皮膚につかないよう、よく注意して使用してください。
- (11) 回復後、瘢痕が残ることがあります。

●成分・分量 (100g中)

硫酸銅……………2.0g サリチル酸……………0.2g
添加物として、ナタネ油、ロジン、モクロウ、パラフィン、白色ワセリン、ペルーバルサム、酢酸、精製水、着色剤を含有します。

●保管および取扱上の注意

- (1) 小児の手のとどかないところに保管してください。
- (2) 使用後は必ずふたをして、直射日光をさけ、涼しいところに密栓して保管してください。
- (3) 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
- (4) 外用薬ですから間違えて口に入らないように注意してください。
- (5) 本剤が衣服等に付着した場合、色素が落ちにくくなる場合がありますのでご注意ください。

本品についてのお問い合わせはお買い求めのお店又は下記をお願い致します。

町田製薬株式会社 お客様相談室
電話 (03) 3466-2441 (大代表)
受付時間 平日 9:00~17:00

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
フリーダイヤル ☎ 0120-149-931

製造販売元 町田製薬株式会社

東京都渋谷区世塚1-35-1